

昭和二十年の頃の神祭

昭和二十年前後、戦争中・直後も祖父の日記を見ると神祭（棒打ち実施は不明）は行われていました。次が祖父の日記から抜粋した神祭の日の記録です。

昭和十八年十一月十八日木曜 天気 曇

神祭ニテ浅上王子宮ニ参拝例ノ通本日八組合八休業又祭典後 直會ヲシテ大分酔フ

昭和十九年十一月十八日土曜 天気 雨后晴

今日八浅上王子宮秋季例祭ナリ・氏神へ幸正嘉彦行ク正子佐喜毛後カラ並々ニ参拝ニ行ク

四坊ニテ兵隊小演習アリ・

昭和二十年 十一月十八日 土 天候 晴

今日八山北神事ナリ佐治剛ヲ負ヒ九寿男恵子ヲ自轉車ニ積ンデ来ル・夕方カラ一寸酒宴・

昭和二十一年 十一月十八日 日 天候 晴

午食後氏神宮へ参拝神祭御神幸ト年行事トシテ加ハル

昭和二十二年 十一月十八日 火 天候 曇

農業會八神祭デ休ミニシタ・午後三時頃カラお宮へ行キ 神祭ノ棒打ヤ獅々舞ヲ見ル

昭和二十三年 十一月十八日 木 天候 曇后雨

佐喜ト共ニ行キ棒打獅々舞等ヲ見ル小雨ニテ觀衆少ナシ

昭和二十年の頃の神祭の写真

紹介の写真は年を特定する資料ないのですが、日記を読むと、昭和二十二年撮影と推測します。ネガ汚れているので写真は不鮮明です。



浅上王子宮の参道 入口



浅上王子宮の鳥居を見る



浅上王子宮の鳥居を見上げる



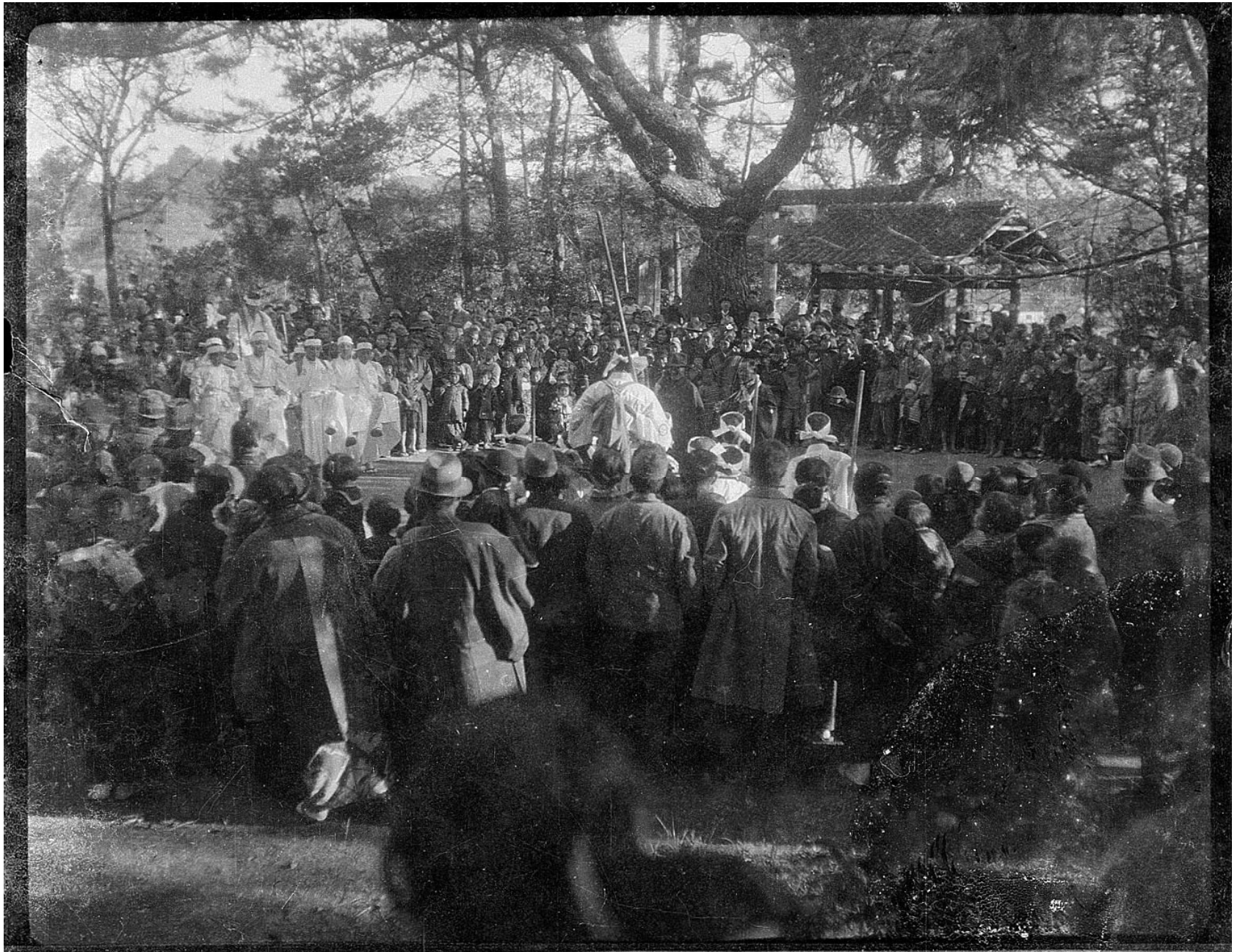
浅上王子宮の鳥居の奥（黄色の→先）に既に大きいホルトノキが見える



浅上王子宮の鳥居の下に進駐軍のジープが見える



立打



棒打 大将入場



棒打 獅子舞



上左 現在 2020 年の鳥居から見下ろす 上右から下 2011 年の棒打